

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学
連合小児発達学研究科教授会記録

日 時 平成30年10月4日（木）午後4時00分～午後4時30分
場 所 各校講義室にて遠隔講義システムにより開催
出 席 者 （大阪校）谷池研究科長、佐藤副研究科長、片山研究科長補佐、井村教授、酒井教授
（金沢校）横山副研究科長、小林教授、柴教授、堀教授、三邊教授
（浜松校）武井副研究科長、尾内教授、高貝教授、土屋教授、山末教授
（千葉校）平野副研究科長、清水教授、中川教授
（福井校）松崎副研究科長、小坂教授、安倍教授、友田教授 計22名
欠 席 者 （大阪校）池田教授、大藁教授、畑澤教授
（金沢校）菊知教授
（福井校）大嶋教授
計 5名
[合計27名]

議 事

◇ 議事に先立ち、研究科長から、9月6日（木）開催の教授会記録の確認があった。

【 報告事項 】

1. 副研究科長等会議報告について
研究科長から、配付資料に基づき、報告があった。
2. 総長・理事等による部局運営方針等ヒアリングについて
研究科長から、配付資料に基づき、総長・理事等による部局運営方針等ヒアリングが実施される旨報告があり、当該ヒアリングに向けての事前説明資料として、各部局の現状認識、及び今後（第3期中期目標期間）の部局運営方針について作成し、それについては次回教授会で説明する旨、併せて説明があった。
3. 教務担当者会議報告について
佐藤教授から、配付資料に基づき、報告があった。

【 協議事項 】

1. 専任・兼任教員の変更等について
研究科長から、配付資料に基づき、浜松校から浜松医科大学医学部助教 亀野陽亮 氏を兼任教員にしたい旨要望があった旨説明があり、協議の結果、承認された。
2. 医歯薬生命系「組織再編WG」メンバー選出について
研究科長から、大阪大学における医歯薬生命系の研究科で構成する組織再編WGについて、そのメンバーは、2025年に教授として在籍していることを想定した若手教員が考えられており、本研究科からも選出することとなっている旨説明があり、協議の結果、その人選については、大阪校に一任することが承認された。
3. 奨学寄附金の受け入れについて
研究科長から、配付資料に基づき、奨学寄附金2件の受入れについて説明があり、協議の結果、承認された。

4. 平成30年度（第1回）入学試験合格者判定について

研究科長から、配付資料に基づき、試験成績を勘案した上で、上位6名までを合格者とする旨説明があり、協議の結果、承認された。

5. 教育目標、各ポリシーについて

佐藤教授から、配付資料に基づき、大阪大学理事・教育課程委員会委員長から、全学版の教育目標、及び各ポリシーを一部改正したことにより、各研究科等の教育目標等について一部改正した内容を提出するよう依頼があったことから、教務担当者会議において、本研究科における教育目標、ディプロマ・ポリシー、及びカリキュラム・ポリシーについて見直しを協議し、協議した結果を副研究科長等会議でも改めて協議した旨説明があり、協議の結果、承認され、軽微な文言の修正については研究科長に一任することとした。

6. 気象警報発表時の授業の取り扱いについて

佐藤教授から、特に先頃の激しい異常気象により、登下校時等で学生に不利益が生じることの危惧があることから、教務担当者会議において気象警報発表時の授業の取り扱いについて協議したところ、連合する各大学で取扱いに差異があり、また各校が遠隔であることから同じ時間帯での気象状況が違うこともあり、当面は各校での状況を鑑みながら学生に不利益が生じないことを第一に取り扱っていき、実施した授業が気象状況により受講できなかった学生については、従前通りCLEでの受講により学生が不利益にならないよう取り扱うこととするが、当該事象が発生した場合の取扱いの流れ図を作成する等、教務担当者会議で引き続き協議していく旨説明があった。

また、配付資料に基づき、教務担当者会議において、本研究科の取扱いにおける気象警報発表地域の名称の変更、及び授業の取扱いとして、18時以降に当該警報が発表された場合の取扱いを追記することについて協議し、協議した結果を副研究科長等会議でも協議した旨併せて説明があり、協議の結果、承認され、軽微な文言の修正については研究科長に一任することとした。

7. 平成31年度新カリキュラムにおける他部局へ本研究科授業科目を提供することについて

佐藤教授から、配付資料に基づき、大阪大学理事・教育課程委員会委員長から、他部局へ提供できる授業科目について照会があったことから、教務担当者会議で協議したところ、新たに授業科目の提供があり、提供のあった授業科目について副研究科長等会議でも改めて協議した旨説明があり、協議の結果、承認された。

8. 早期修了について

佐藤教授から、配付資料に基づき、これまで早期修了の条件としてきたアクセプトされた学術誌がインパクトファクター5以上であることについて、どの時点での値かを教務担当者会議において協議したところ、「投稿時または掲載時」であることとし、協議した結果を副研究科長等会議においても改めて協議した旨説明があり、協議の結果、承認され、軽微な文言の修正については研究科長に一任することとした。

9. 学生の異動について

研究科長から、配付資料に基づき、休学取下げ1名、及び休学3名について説明があり、協議の結果、承認された。

10. 平成31年度研究生募集要項（案）について

佐藤教授から、配付資料に基づき、持ち回りの教務担当者会議において、平成31年度研究生募集要項（案）について協議した旨説明があり、協議の結果、承認された。

1 1. 学位審査委員（主査・副査）の選出について

研究科長から、配付資料に基づき、教務担当者会議にて承認された学位審査委員（主査・副査）について説明があり、協議の結果、承認された。

以上